

はじめに

物品の売買、金融取引、音楽や映像データの提供などの様々な分野において、オンラインサービスが人々の日常生活に欠かせないものとなり、その取引条件を定める利用規約の重要性は増しており、それに伴い、重要な立法や法改正が相次いでいる。また、個人情報保護の分野においても、個人情報の利活用と保護のバランスを踏まえた議論の進展が目覚ましく、プライバシーポリシーの内容も、大きく変容している。そして、国際的な取引においては、域外適用の問題や国際私法のルールとの関係で、検討事項は更に複雑化する。

このような状況を踏まえ、利用規約やプライバシーポリシーに関する法的論点の検討も深まってきており、既にこれらに関連する書籍は複数刊行されている。しかし、相次ぐ立法・法改正に対応するアップデートの必要性が高く、また、利用規約やプライバシーポリシー作成に当たって問題となる理論的な問題や裁判例の分析に加え、国際的な取引に特有の問題についてまで十分な検討を行うことで、独自性のある内容の書籍を刊行することができ、それによって実務に貢献することができるのではないかと考え、本書を執筆することとした。このような観点から、本書では、これまでの類書や文献において十分に議論されていない法的論点について検討し、著者の見解を示している箇所もある。本書の見解について、異なる立場からのご指摘やご批判もあるだろうということは承知しているが、今後の議論を通じて、解釈論の更なる精緻化や新たな実務的な解決策の提示につながることがあれば幸いである。

本書は、長島・大野・常松法律事務所において、利用規約やプライバシーポリシーの作成・解釈に関連する業務を取り扱っている弁護士が執筆し、殿村桂司弁護士、遠本麻佑子弁護士及び水越政輝弁護士と私の4名が中心となって取りまとめた。また、本書の出版に当たっては、株式会社商事法務の樋元ちづる氏に大変お世話になった。この場を借りて心から御礼を申し上げる。

最後に、本書の企画を発案した株式会社商事法務の井上友樹氏が2023

年2月17日に御逝去されたとの報に接した。井上氏は、利用規約等についての類書が数多くある中でも、理論と実務の架橋となるような書籍は少なく、また、国際的な取引が増える中で、英文での利用規約やプライバシーポリシーの作成・検討の参考となる書籍が必要ではないか、との問題意識を持って、約2年前にこの書籍の出版を企画し、お声がけいただいた。井上氏は、実務の声に敏感で、アイデアと熱意にあふれた編集者であった。本書を出版することができたのは、井上氏の力に負うところが大きかった。この書籍の完成を井上氏に報告することができなかったことは、痛恨の極みである。謹んでご冥福をお祈りする。

2023年6月

執筆者を代表して

長島・大野・常松法律事務所

弁護士 松尾 博憲